

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	業務用 ヘッドライトコート クリーナー
製品分類	自動車ヘッドライト用の研磨剤
主な用途	自動車ヘッドライトの洗浄およびコート剤の下地処理
供給者の会社名称	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	カーケミカル事業本部 技術本部 技術部
電話番号	0575-24-6171
FAX 番号	0574-24-7710
発行日	2023 年 7 月 21 日

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

健康有害性	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系、血液系)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器系)
		区分 2 (中枢神経系)

GHS ラベル要素



絵表示又はシンボル:

注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	H350 発がんのおそれ
	H371 中枢神経系、血液系の障害のおそれ
	H372 長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系の障害
	H373 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入力すること。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264	取扱い後は手をよく洗うこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

P308+P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P308+P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

P314	気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
保管	
P405	施錠して保管すること。
廃棄	
P501	内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
含有成分及び含有量

化学名又は一般名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
酸化アルミニウム	10～30	1344-28-1	(1)-23	該当 (189)	非該当	非該当
結晶質シリカ	0～7	61790-53-2	対象外	該当 (165-2)	非該当	非該当

注記 化審法 No：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示番号

安衛法：労働安全衛生法

PRTR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

毒劇法：毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

吸入した場合

誤って多量にガスを吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かく安静にすること。
もし、呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合には、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

付着液を紙、布にて素早く拭き取ること。
多量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分間以上洗う。目蓋も裏まで完全に洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合、水で口の中をすすぎ、医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂

使ってはならない消火剤 データなし。

火災時の特有の危険有害性 データなし。

特有の消火方法

本品は、引火・爆発などの危険性はない。付近で火災が生じたときは、速やかに遠ざける。

消火活動を行う者の保護具及び予防措置

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用すること。

屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行なうこと。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙などを用いて吸収させて空容器に回収すること。その後、漏出区域周辺を水で洗い流すこと。洗浄した水等は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。

多量の場合は、土のう等で流出を防ぎ、ポンプ等で吸い取ること。

廃棄物は、関係法令などに基づいて処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

作業所の十分な換気を確保する。

安全取扱い注意事項

換気の良い場所で使用すること。

皮膚・目・顔を保護する適切な保護具を着用すること。

容器はその都度密栓すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管**安全な保管条件**

直射日光に当たらない、冷暗所に貯蔵すること。凍結を避けるため0℃以下では保管しない。

安全な容器包装材料

元の容器で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理濃度、許容濃度**

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
酸化アルミニウム	3.0mg/m ³ (粉じん)	0.5mg/m ³ (吸入性粉じん) 2mg/m ³ (総粉じん)	TWA 1mg/m ³ (アルミニウム金属 および不溶性化合物)
珪藻土	E=3.0/(1.19Q+1) E:管理濃度(mg/m ³) Q:当該粉じんの遊離 けい酸(結晶性シリカ) 含有率(%)	0.5mg/m ³ (吸入性粉じん) 2mg/m ³ (総粉じん)	データなし

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

設備対策	作業所の十分な換気を確保する。
保護具	
呼吸用保護具	保護マスクを使用する。
手の保護具	ゴム手袋を使用する。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	保護前掛けを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 白色不透明
臭い	: 特異臭
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: なし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 7
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に易溶 (固形物は沈殿)
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.23g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	酸化性なし、自己反応性なし。
化学的安定性	常温で安定
危険有害反応可能性	三フッ化塩素と反応し、発火するおそれがある。
避けるべき条件	火気、高温、直射日光、凍結
混触危険物質	強酸、強塩基、三フッ化塩素、酸化エチレン、ハロゲン化炭化水素、二フッ化酸素、フッ化水素酸
危険有害な分解生成物	煙、ヒューム等

11. 有害性情報

製品に対する有害性情報	データなし
組成物質に関する有害性	
酸化アルミニウム	
急性毒性	
ラット (経口) LD50 > 5,000mg/kg (IUCLID (2000))。	
皮膚腐食性/刺激性	

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

情報なし。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

ACGIH で A4 に分類されている。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

上気道刺激性 (ICSC (2000))。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

酸化アルミニウムの職業暴露により、肺に腺維症が認められた (EHC (1997))。

誤えん有害性

情報なし。

珪藻土 (結晶質シリカ含有率 0.1%以上のもの)

急性毒性

経口 LD50(ラット) >5,000 mg/kg(農業技術情報(1992))

経皮 LD50(ウサギ) >2,000 mg/kg(農業技術情報(1992))

皮膚腐食性／刺激性

ウサギを用いた皮膚刺激性試験において、本物質を 24 時間適用した結果、刺激はみられなかった (農業技術情報 (1992))。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

結晶質シリカについては、IARC でグループ 1 に (IARC 100C (2012))、NTP で K に (NTP RoC (14th, 2016))、日本産業衛生学会で第 1 群に分類されており (許容濃度の勧告 (2016))、区分 1A に分類される。本物質は、区分 1A に該当する結晶質シリカを発がん性区分 1 のカットオフ値 (0.1%) 以上含有していることから、区分 1A とした。

なお、珪藻土のヒトにおける発がん性情報はなく、実験動物では、ラットに経口 (混餌) 経路により、20 mg/匹の用量で生涯ばく露した試験、及びマウスに 20 mg/匹の用量で皮下注射 (投与回数不記載) した試験では腫瘍発生はみられなかった (IARC 68 (1997)) との報告がある一方で、マウスに 20 mg/匹で腹腔内注射 (投与回数不記載) した試験では腹腔内にリンパ肉腫の発生が 6/17 例にみられ、対照群 (1/20 例) に比べて有意な増加が示されたとの報告があるが、いずれの試験報告も被験物質 (珪藻土) における結晶質シリカの含有量について記載がなく、結晶質シリカの存否は不明 (IARC 68 (1997))。

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ヒトについては、珪藻土にばく露された労働者で塵肺症の報告があるが、他の石英ダストへのばく露が不明であったり、珪藻土の焼成によりクリストバライトが生じること、珪藻土中に結晶質シリカが含まれること等、塵肺症が珪藻土によるものと断定できないとの報告がある(DFGOT vol. 2 (1991))、未焼成のダストにばく露された珪藻土の作業者において、軽度の珪肺症のみがみられたとの報告がある(ACGIH (7th, 2001))。また、粗製の珪藻土あるいは天然の粉に20~25年間ばく露された労働者の研究では、肺の線維症を起こすのはまれであり、あったとしても症状のみで明らかな障害はみられていない。天然の珪藻土自体は弱い線維形成性あるいは非線維形成性であり、肺の線維症は結晶質シリカあるいは肺の過負荷に起因したものと考えられるとの報告がある(ACGIH (7th, 2001))。

実験動物では、モルモットに非晶質シリカとして100 mg/m³の珪藻土、結晶質シリカとして150 mg/m³のクリストバライトを2年間吸入ばく露した試験において結晶質シリカであるクリストバライトは21ヵ月で線維症がみられ、24ヵ月で重篤化がみられたのに比べ、非晶質シリカである珪藻土は24ヵ月で線維化がみられたが、重篤化はみられていない(ACGIH (7th, 2001))。また、モルモットに60mg/m³の非焼成の珪藻土を37~50週間吸入ばく露した試験において、マクロファージの浸潤、ダスト粒子を含んだ多数の多核細胞の蓄積による肺胞中隔の肥厚、及び肺胞の上皮化がみられたが、肺の線維化はみられず、極めてわずかな細網線維量の増加がみられたが膠原線維の有意な増加はみられていない(ACGIH (7th, 2001))。

以上のように、ヒトについては結晶質シリカを含まない珪藻土単体での影響については明確ではないが、結晶質シリカを含んだ珪藻土については肺への影響が考えられる。また、実験動物において、程度は軽いものの区分2の範囲で肺に影響がみられている。本物質は結晶質シリカを含むことから区分1(呼吸器)とした。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

製品に対する有害性情報 データなし

組成物質に関する有害性

酸化アルミニウム

生態毒性

情報なし。

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壤中の移動性

情報なし。

オゾン層への有害性

情報なし。

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

珪藻土（結晶質シリカ含有率0.1%以上のもの）**生態毒性**

情報なし。

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壤中の移動性

情報なし。

オゾン層への有害性

情報なし。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
 残余廃棄物

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、
 もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに委託して処理する。

焼却処理をする場合、安全な場所で且つ燃焼ガスに注意し、他に危害または損傷を及ぼす恐れ
 のないように注意すること。

容器・包装

製品が付着している容器も、廃棄物として適切に処理すること。

容器を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意**国際規制**

国連番号 非該当

品名 非該当

国連分類 非該当

容器等級 非該当

海洋汚染物質 非該当

国内規制**陸上輸送**

取扱いおよび保管上の注意の項の一般的注意に従う。輸送の際は、容器漏れの無いことを
 確かめ、荷崩れのないように処置を講ずること。

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 「3. 組成、成分情報」に記載
 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(酸化アルミニウム、結晶質シリカ)

SDS 登録 No.00330169-C-JP3

製品名 業務用 ヘッドライトコート クリーナー

名称等を表示すべき危険物及び有害物（酸化アルミニウム、結晶質シリカ）
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 非該当
毒物及び劇物取締法 非該当
消防法 非該当
海洋汚染防止法 未査定液体物質

16. その他の情報

参考資料

溶剤便覧

急性中毒処置の手引

GHS 分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）

GHS に基づく化学品の分類方法（JIS Z7252:2019）

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法（JIS Z7253:2019）

注意 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

SDS 登録 No.00330169-A-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート A 液

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 業務用 ヘッドライトコート A 液
製品分類 自動車ヘッドライト用コーティング剤
主な用途 自動車ヘッドライトの保護および艶出し
供給者の会社名称 シーシーアイ株式会社
住所 〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門 カーケア用品事業部 技術部 技術グループ
電話番号 0575-24-4632
FAX 番号 0574-24-7223
発行日 2021 年 5 月 27 日

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類 有害とは分類されない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル： —
注意喚起語： —
危険有害性情報： —

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

含有成分及び含有量

化学名又は一般名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.	労安法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
アクリル酸エステル 共重合体	40~50	登録有	登録有	非該当	非該当	非該当
水	50~60	7732-18-5	—	—	—	—

注記 化審法 No：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示番号
労安法：労働安全衛生法
PRTR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
毒劇法：毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

吸入した場合

誤って多量にガスを吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かく安静にすること。
もし、呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合には、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

付着液を紙、布にて素早く拭き取ること。
多量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。

SDS 登録 No.00330169-A-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート A 液

外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で 15 分間以上洗う。目蓋も裏まで完全に洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合、無理に吐かせずに水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	データなし。
火災時の特有の危険有害性	データなし。

特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。
消火作業は風上から行なうこと。
大規模火災には水又は泡消火剤を使用のこと。

消火活動を行う者の保護具及び予防措置

適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用すること。
屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行なうこと。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙などを用いて吸収させて空容器に回収すること。その後、漏出区域周辺を水で洗い流すこと。洗浄した水等は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。
多量の場合は、土のう等で流出を防ぎ、ポンプ等で吸い取ること。
廃棄物は、関係法令などに基づいて処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

作業所の十分な換気を確保する。

安全取扱い注意事項

換気の良い場所で使用すること。
多量に使用する場合は、皮膚・目・顔を保護する適切な保護具を着用すること。
容器はその都度密栓すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

SDS 登録 No.00330169-A-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート A 液

保管

安全な保管条件

凍結および直射日光を避け、冷暗所に貯蔵すること。
保管時の温度は 5℃以下或いは 40℃以上とならないようにする。

安全な容器包装材料

元の容器で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
アクリル酸エステル 共重合体	設定されていない	設定されていない	設定されていない

設備対策 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 必要に応じて保護マスクを使用する。
手の保護具 必要に応じてゴム手袋を使用する。
眼、顔面の保護具 必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具 必要に応じて保護前掛けを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 白色不透明
臭い : 僅かなアクリル臭
融点/凝固点 : 0℃ (水)
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 100℃ (水)
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : なし
引火点 : なし
自然発火点 : なし
分解温度 : データなし
pH : 8
動粘性率 : データなし
溶解度 : 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : 1.06g/cm³ (20℃)
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 酸化性なし、自己反応性なし。
化学的安定性 常温で安定

SDS 登録 No.00330169-A-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート A 液

危険有害反応可能性	情報なし。
避けるべき条件	低温(5°C以下)、高温(40°C以上)
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	燃焼などにより一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガスを生じる。

11. 有害性情報

製品に対する有害性情報 データなし

組成物質に関する有害性

アクリル酸エステル共重合体

急性毒性

情報なし。

皮膚腐食性/刺激性

情報なし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

製品に対する有害性情報 データなし

組成物質に関する有害性

アクリル酸エステル共重合体

生態毒性

情報なし。

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壤中の移動性

情報なし。

SDS 登録 No.00330169-A-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート A 液

オゾン層への有害性
情報なし。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
残余廃棄物

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、
もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに委託して処理する。
焼却処理をする場合、安全な場所で且つ燃焼ガスに注意し、他に危害または損傷を及ぼす恐れ
のないように注意すること。

容器・包装

製品が付着している容器も、廃棄物として適切に処理すること。
容器を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当

国内規制

陸上輸送

取扱いおよび保管上の注意の項の一般的注意に従う。輸送の際は、容器漏れの無いことを
確かめ、荷崩れのないように処置を講ずること。

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 「3. 組成、成分情報」に記載
労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物 非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

消防法 非該当

16. その他の情報

参考資料

溶剤便覧

急性中毒処置の手引

SDS 登録 No.00330169-A-JP2

製品名 業務用 ヘッドライトコート A 液

GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 (JIS Z7253:2019)

注意 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

SDS 登録 No.00330169-B-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート B 液

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 業務用 ヘッドライトコート B 液
製品分類 自動車ヘッドライト用コーティング剤
主な用途 自動車ヘッドライトの保護および艶出し
供給者の会社名称 シーシーアイ株式会社
住所 〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門 カーケア用品事業部 技術部 技術グループ
電話番号 0575-24-4632
FAX 番号 0574-24-7223
発行日 2021 年 5 月 27 日

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類 有害とは分類されない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル： —
注意喚起語： —
危険有害性情報： —

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

含有成分及び含有量

化学名又は一般名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法 No.	労安法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
架橋剤	1~5	登録有	登録有	非該当	非該当	非該当
水	95~99	7732-18-5	—	—	—	—

注記 化審法 No：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報告示番号
労安法：労働安全衛生法
PRTR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
毒劇法：毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

吸入した場合

誤って多量にガスを吸い込んだ場合、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かく安静にすること。
もし、呼吸が不規則な場合や吐き気がする場合には、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

付着液を紙、布にて素早く拭き取ること。
多量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。

SDS 登録 No.00330169-B-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート B 液

外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で 15 分間以上洗う。目蓋も裏まで完全に洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合、水で口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水または牛乳を飲ませ嘔吐させる。

直ちに医師の診断を受けること。

被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 データなし。

火災時の特有の危険有害性

燃焼生成ガス中には、一酸化炭素、窒素酸化物等を含む有害なガスが含有される。

特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。

消火作業は風上から行なうこと。

大規模火災には水又は泡消火剤を使用のこと。

消火活動を行う者の保護具及び予防措置

適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際、保護手袋、保護マスク、保護前掛け等を着用すること。

屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行なうこと。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙などを用いて吸収させて空容器に回収すること。その後、漏出区域周辺を水で洗い流すこと。洗浄した水等は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。

多量の場合は、土のう等で流出を防ぎ、ポンプ等で吸い取ること。

廃棄物は、関係法令などに基づいて処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

作業所の十分な換気を確保する。

安全取扱い注意事項

換気の良い場所で使用すること。

多量に使用する場合は、皮膚・目・顔を保護する適切な保護具を着用すること。

容器はその都度密栓すること。

SDS 登録 No.00330169-B-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート B 液

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

容器は密栓して、冷暗所に貯蔵すること。

安全な容器包装材料

元の容器で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
架橋剤	データなし	データなし	データなし

設備対策

作業所の十分な換気を確保する。取扱い場所の近辺に洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクを使用する。
手の保護具	必要に応じてゴム手袋を使用する。
眼、顔面の保護具	必要に応じて保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護前掛けを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色透明～微白色半透明
臭い	: ほとんどなし
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 9
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に易溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.00g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

SDS 登録 No.00330169-B-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート B 液

10. 安定性及び反応性

反応性	カルボン酸、アルコール、アミン等の活性水素化合物が共存すると反応し、付加体を形成する。
化学的安定性	常温で安定
危険有害反応可能性	情報なし。
避けるべき条件	高温または直射日光での保管。
混触危険物質	禁水性物質、酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物などが発生する。

11. 有害性情報

製品に対する有害性情報	データなし
組成物質に関する有害性	
架橋剤	
急性毒性	
ラット（経口）LD50	> 2,000mg/kg
ラット（経皮）LD50	> 2,000mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	
ウサギにおける急性皮膚刺激性／腐食性試験	Non Irritant
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	
ウサギにおける急性眼刺激性試験	Mild Irritant
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	データなし
マウスにおける皮膚感作性試験	Non Sensitive
生殖細胞変異原性	
陰性 (Ames test)	
発がん性	
IARC (国際ガン研究機構) および NTP (米国国家毒性プログラム) のリストに記載されていない。	
生殖毒性	
情報なし。	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	
情報なし。	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	
情報なし。	
誤えん有害性	
情報なし。	

12. 環境影響情報

製品に対する有害性情報	データなし
組成物質に関する有害性	
架橋剤	
生態毒性	
情報なし。	

SDS 登録 No.00330169-B-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート B 液

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壤中の移動性

情報なし。

オゾン層への有害性

情報なし。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
残余廃棄物

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、
もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに委託して処理する。

焼却処理をする場合、安全な場所で且つ燃焼ガスに注意し、他に危害または損傷を及ぼす恐れ
のないように注意すること。

容器・包装

製品が付着している容器も、廃棄物として適切に処理すること。

容器を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当

国内規制

陸上輸送

取扱いおよび保管上の注意の項の一般的注意に従う。輸送の際は、容器漏れの無いことを
確かめ、荷崩れのないように処置を講ずること。

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 「3. 組成、成分情報」に記載
労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物 非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 非該当
毒物及び劇物取締法 非該当

SDS 登録 No.00330169-B-JP2
製品名 業務用 ヘッドライトコート B 液

消防法 非該当

16. その他の情報

参考資料

溶剤便覧

急性中毒処置の手引

GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019)

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 (JIS Z7253:2019)

注意 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。